



子供たちが収穫

9月27日(水)
立仏小学校5年生約40人が、同小学校前の体験学習田で稲刈りを行いました。春の田植えと同様、JA越後中央青壮年連盟黒埼支部の皆さんの指導のもと、子供たちはカマを使って、初めての稲刈りを体験しました。

力作が勢揃い

黒埼町陶和会作陶展が、9月28日から10月1日まで新潟市美術館で開催され、同会員約45人の力作が展示されました。陶和会(会長 横山仁幸さん、会員90人)とは、「自由な陶芸」「楽しむ陶芸」をモットーに自由奔放な「用と美」の作陶活動を保健センターで毎週火曜と金曜に行っているクラブです。



まちの二コース

町の様々な出来事をお伝えします

「雪月華雲山水」



江川蒼竹氏の回顧展を開催中

黒埼誕生100年を記念した「江川蒼竹回顧展～悠々たる墨人～」が、山田の雪梁舎美術館で10月7日から始まりました。12月10日(日)まで開催しておりますので、皆さんご覧ください。なお、この回顧展は、先にお配りした黒埼誕生100年記念事業特集チラシの無料入館券で入館できます。2回目の展示替えは11月21日を予定しております。



図書館 だより

町立図書館

問い合わせ ☎377-5300

- (1) 郷土資料専門の資料室の設置
- (2) 学習室の設置
- (3) 児童室の設置
- (4) 集会室・展示室の設置

現在の図書館が手狭なことと、図書館本来の活動をする上で特に必要な施設は次の4つである。

「はじめに」
現在の図書館は、昭和58年に多くの人に本を読んでほしいとの願いから、ある篤志家の寄付を元に、独立館として開館され、予算や設備の面で先進地に及ばないながらも、地域に根ざした活動を続けて来た。町村図書館が県内で珍しかった時に、町に図書館があるという事実は町民にとって誇らしいことであつた。

しかし、書庫も年々手狭となり、本来の図書館の町民サービスが低下をきたしているところから、以下の点について提言いたします。

1 図書館の増改築について
現在の図書館が手狭なことと、図書館本来の活動をする上で特に必要な施設は次の4つである。

2 新潟市全体の図書館の発展をめざして
新潟市では他町村に先駆けて司書職を専門職として採用し、現場に働く非常勤職員にも司書資格を義務付け、図書館の職員体制については先進地域と云える。

中央図書館の建設と合わせ、黒埼地区の図書館事情を見直し、新潟市の図書分館のあり方を問う機会にしてほしい。

おわりに

新潟市という大きな都市に飲み込まれるのではなく、独自性を主張した特色ある一地域となり、新潟市の文化創造の発進地域となつてほしい。その為にも図書館の整備は必要であり、地域の文化創造の推進に図書館の果たす役割は大きな力を担っているとされる。これらの点からぜひ、図書館整備に力をそそいで欲しい。

以上のような、概略となり、合併を機にこれらのことを十分に議論され、図書館協議会の提言が尊重されることを望みます。(館長)

図書館協議会の提言

ふるさと村を見学

9月21日(木)・22日(金)
デイサービスセンター黒埼荘の秋の遠足が、新潟ふるさと村で行われました。2日間合わせて43人のデイサービス利用者が参加し、ボランティアの皆さんや同センター職員といっしょに、花畑やアビール館、バザール館を見学しました。

